

## 世界祈祷日 2024～パレスチナからのメッセージ～

社会活動部 新田まゆみ

2000年3月初め、予定されていた世界祈祷日は、新型コロナウイルスの影響で急遽キャンセルになりました。なんかわからない未知の恐ろしいウイルスが世界中に入ってきて、全てが中止、学校まで休校になった頃でしたから、仕方ありません。日曜日のミサもしばらく中止でしたね。

それから毎年、まだ大勢で集まるのは...と、献金のみになっていましたが、今年は3月1日(金)に日本基督教団・大津教会礼拝堂にて、5年ぶりのリアル開催！カトリック唐崎教会からは、池田芳子さん、伊藤夏代さん、今井章夫さん、岩崎多瑞子さん、塩月達也さん、本田まきこさん、新田まゆみの7人で参加しました。

他に日本基督教団【大津教会・膳所教会・石山教会・大津東教会】・聖マリア教会・カトリック大津教会・大津バプテスト教会と、全部で8つの教会から信者さんが集まったの開催となりました。

祭壇には、パレスチナのシンボルとして、オリーブの枝、柑橘類、サボテン、ジャスミンとポピーの花が飾られました。

オリーブの木は樹齢が何千年もあり、現在パレスチナにあるオリーブの木には、イエス様の生きておられた時代から存在しているものもあるそうで、びっくりです。柑橘類は、パレスチナで昔からよく育ち、世界中に輸出されているもの。

サボテンはパレスチナ原産ではありませんが、村と村を区切る自然な境界線として植えられていて、戦争で村が破壊されても、サボテンだけは生き残っていることから、回復力や生き残ることの象徴的な存在だそうです。花や果実は、美と滋養の象徴です。

ジャスミンやポピーは、パレスチナに多く見られる花。リラックスタイムにはジャスミンティー。またポピーの花を見て、祖国のために命を捧げた愛する人たちのことを思い起こすのだとか。

日本基督教団・大津教会には初めて行きました。古いけど温かみがある雰囲気でお祈りしたり、讃美歌を歌ったり、パレスチナの話をお聴いたり、素敵なお時間でした。平日なので参加が難しい方もいらっしゃると思いますが、別の宗派の教会に行く機会はないかなありませんし、来年はぜひ参加してみたいかながらう？

